

新型コロナウイルスワクチン(無料)

オミクロン株対応ワクチンによる「令和5年春開始接種」が始まります

【対象】ワクチンを2回以上接種済みの下記のかた

- ◆65歳以上のかた
- ◆5歳以上64歳以下で基礎疾患のあるかたや、重症化リスクが高いと医師が認めるかた
- ◆医療従事者など(医療機関や高齢者施設などの従事者)

【接種券の送付】①～③のかたへ、前回の接種日が早い順番に接種券をお送りします。

①60歳以上のかた

*60歳以上のすべてのかたへ接種券は送付されますが、64歳以下のかたのうち今回の「春開始接種」は、基礎疾患のあるかたや医療従事者などのかたのみが対象です。詳しくは接種券に同封される案内をご覧ください。

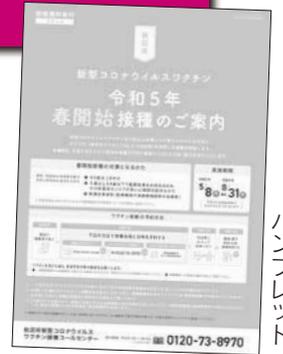
②5歳以上59歳以下で基礎疾患のあるかたや、医療従事者などのかたのうち、令和4年5月30日から10月16日までに4回目接種券の発行申請をされたかた

*4回目の発行申請をしていないかたは申請が必要です。▶コールセンターまたは専用ウェブサイトから申請してください…5月8日(月)から

③1・2回目接種を医療従事者などとして優先的に受けたかた

【接種会場など】

- ◆医療機関での個別接種と、西武秋田店3階で集団接種を実施します
- ◆予約は5月8日(月)から開始します。実施日などについてはコールセンター、専用ウェブサイトでご確認ください
- ◆5月8日(月)から予約サポートセンターを開設します
- *詳しくは広報あきた4月21日号と同時配布されたパンフレットをご覧ください。



パンフレット

▶1・2回目の接種を完了したかたを対象に、秋から冬に追加接種を実施する予定です。詳しくは決定次第お知らせします



▶5歳以上のかたの1～2回目、生後6か月～4歳のお子さんの1～3回目のワクチン接種についても引き続き実施しています。詳しくは専用ウェブサイトをご確認ください

5～11歳のお子さんの追加接種もオミクロン株対応ワクチンになり、接種間隔も3か月に短縮されました



◆集団接種のみで実施します。会場や実施日はコールセンターまたは専用ウェブサイトでご確認ください

◆対象となるのは、小児用ワクチン(2または3回目)または乳幼児ワクチン(3回目)の接種を完了しているかたです。対象となるかたに、順次接種券をお送りしています

◆15歳以下の接種には原則保護者の同伴が必要です。また予診票には必ず保護者の署名をお願いします。

▶秋田市外から転入されたかたは、接種券の発行申請が必要です。…コールセンターまたは専用ウェブサイトから申請してください

▶新型コロナウイルスに感染したことがあるかたもワクチン接種が可能です

▶ワクチン接種は、強制ではなく、本人の意思に基づき受けていただくものです。接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることがないようにお願いします



秋田市新型コロナウイルス
ワクチン接種コールセンター
☎0120-73-8970 (平日9:00～18:00)

ワクチン接種専用ウェブサイト
<https://acity-va.com>



ワクチン専用ウェブ

▶聴覚に障がいのあるかたや、電話での問い合わせが難しいかたはFAXでも受け付けています。健康管理課FAX(883)1158

5月8日(月)から新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に位置づけられます

新型コロナウイルス感染症は、感染症法で行動の制限などが行われる「2類相当」に位置づけられていましたが、5月8日からインフルエンザなどと同じ「5類感染症」に位置づけが変更されます。

新型コロナが5類感染症に変更しても、病原性や感染力は変わりません。自らの感染を防ぎ、身近な人を守るため、一人一人が基本的な感染対策を身につけましょう。



問い合わせ▶健康管理課 感染症・難病担当☎(883)1180

5月8日からの おもな変更点



◆医療費の自己負担が 変わります

新型コロナの医療費は、検査や処方薬の費用、入院費を公費支援していましたが、5類感染症変更後は保険診療となり、自己負担となります。

なお、入院医療費については、高額療養費の自己負担限度額から2万円を減額した額が、自己負担となります。

◆陽性者の外出自粛などの 制限がなくなります

新型コロナが陽性となったかたへ、療養期間中の外出自粛をお願いしていましたが、5類感染症へ変更後は外出自粛などの制限がなくなります。

ただし、発熱などの症状があり体調がすぐれない場合は、無理な外出を控え、自宅で療養するようにしましょう。

【感染対策 5つの基本】

①自宅療養・医療機関受診

発熱などの体調不良時に備えて、抗原検査キットや解熱鎮痛薬を準備しておきましょう。症状が出てきたときは、自分で検査キットを用いてチェックし、自宅で療養しましょう。

重症化リスクの high かたや、症状が重く受診を希望されるかたは、医療機関に電話してから受診してください。

②場面に応じたマスクの着用や咳エチケットの実施

外出時はマスクを携帯し、マスクの着用を呼びかけられている場面では、できるだけ着用を心がけましょう。また、咳エチケットを心がけましょう。

*咳エチケット=咳、くしゃみをする際に、マスクやティッシュペーパー、ハンカチ、袖などを使って口や鼻を押さえること

③換気・3密の回避

不特定多数の人がいるところでは換気をし、3密(密集・密接・密閉)を避けることを心がけましょう。

④手洗い習慣

食事の前、トイレの後、帰宅時は流水と石けんで丁寧に手を洗いましょう。手指消毒剤の使用も有効です。

⑤適度な運動・食事などの生活習慣で健やかな暮らしを

一人一人の健康状態に応じた運動、食事、禁煙など適切な生活習慣を送り、体調管理に気をつけましょう。

発熱などで相談先に迷ったら、新型コロナウイルス感染症総合案内窓口へ 24時間受付

かかりつけ医がないなど、医療機関に迷う場合は下記へご相談ください。LINEでも相談できます。右記のコードからアクセスしてください。

☎(895)9176/8:00~17:00 ☎(866)7050/17:00~翌8:00



新型コロナLINE